



道路で 未来を 描く仕事



道路を築く
仕事について

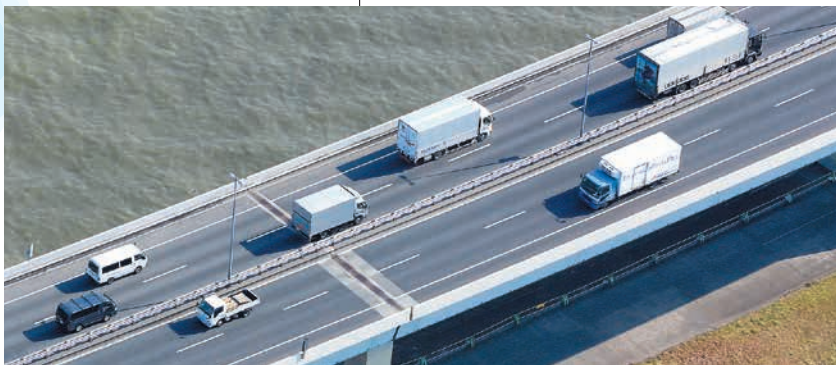


一般社団法人 日本道路建設業協会

気がつけば、いつもそこにあつたもの

動かすちから

人やモノが行き来することで、文化が生まれ、商業が発展するのだと。有形無形のモノや事柄がつながることで、社会はより豊かに、より大きな可能性を秘めながら、次のステージをめざすのだと。エモーションもムーブメントも、心の道を通して広がっていく。



誰にとってもやさしい道とは。人にも地球環境にとってもやさしい道。利便性と美しさ、交通と環境保全は両立するのかを考え抜き、もっと寄り添える道の存在を広めていく。そんな仕事により良い暮らしに直結していく予感。



支えるぐらじ



道を通っているのは、人や交通機関だけじゃない。暮らしを支え、命を守るライフラインも“通行”していると知った。電気、ガス、水道、電話、そして情報……それらを収容する道路空間。見えないところで、ひそやかに確実に、道は命とともにあると実感した。

包み込むやさしさ



すべてのものは道を通って、必要な場所に届けられる。

道路は人の暮らしを支え、命を守るための基盤だから、災害復旧や非常時のため何をおいても維持しなければならない。なんて重い責任と使命だろう。だから、もてるすべてを注ぎ込む価値があるはず。

守り抜く使命



これほど身近にあっても道路が意識されることは少ない。そんな“当たり前”を支えるための仕事は簡単じゃない。目立たないけど大事な仕事。だからこそ力を合わせやり遂げたときに湧きあがるものは、きっとすごい。

共に築く達成感



創りだす誇り

あらゆるモノや文化が道を通して移動していく。どんなに立派な建物も。世界を結ぶ飛行機も。宇宙をめざすロケットも。道がなければ造ることはできない。人の営みは道があってこそ生まれるんだ。





▲ 全体朝礼では作業予定や連絡事項を伝達



▲ 図面と現場をチェック



▲ 仕上がり確認のために測量中

モノ創りの醍醐味は「人とのつながり」と「達成感」。快適で安全な職場環境のため、関係者とのコミュニケーションを大切に広い視野をもつことを心がけています。

(和田和馬さん)

現場が図面通りに仕上がっていくやりがい。努力の結果が目に見える仕事です。

(千蔵裕香さん)



現場作業をスムーズに進めるためには入念な準備が不可欠。そして日々の施工が規格通りにいっているか、安全に作業されているかの確認を続けます。

(小林翔太郎さん)

工事現場を 全体管理 する仕事

全てを見渡しコントロールする現場の要

建設工事は様々な会社が協力しあってはじめて成り立ちます。現場の指揮を取り、様々な協力会社を統括して、工事を完成させるために活躍するのが施工管理の仕事です。そのために、工事における安全・品質・工程・原価の統括管理を行います。

施工 管理職

1本の道を築くプロジェクトに

機械職

道を築き 守る仕事

重機を操作し、直に感じる達成感

現場を調査し、重機を扱い、できたものをチェックする。工程を守りながら、技術を学び経験を積んでいく。工事の現場は、完成に向け一步一步進んでいく実感があふれています。道路の補修や保全、最適化も現場の重要な仕事です。

土木科卒
猿渡 丁大さん

現場で活躍する機械の整備・管理を行うほか、現場に合わせて機械を改造、現場では機械の操縦も行います。

この仕事は地図で形に残る仕事です。これからたくさんの現場を担当して将来自分の子供に自慢したいなと思います。



▼ 機械ヤードを有す企業もあり、配車・整備・開発を行う



▼ 現場では重機の操縦も行う



▼ ICT 技術で重機を自動制御することも





▲ プラントではアスファルト合材の品質管理などを行う



▲アスファルト合材プラント



▲ 研究施設では新しい素材・技術の開発を行う

新材料の開発や製品化のための研究業務がメインですが、現場支援に行ったり、研究成果を学会で発表したり、自社製品を展示会で紹介したりすることも大切な仕事。分野を問わず、様々なバックグラウンドが活かせる仕事です。

(新堀詩織さん)

自分が携わった技術が世に出ることは責任も感じますがワクワクします。様々な専門の方々との研究開発できるのも刺激的。

(岡島穂高さん)



道や工事 の未来を 拓く仕事

知識と技を活かし、新たな道路を創り出す

匠とテクノロジーの融合、それは美しさと機能を兼ね備えた道路と工事の未来への扉を開く。

かつて匠が支えたモノ創り、それを引き継いだ最先端のテクノロジーはモノ創りも進化させます。

技術職 開発職

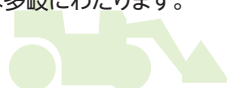
様々な職種が関わっている

営業職 事務職

モノ創りの 現場を 支える仕事

計画を進めるための縁の下の力持ち

道をつくる前から現場をサポートする仕事があります。お客様からの舗装の相談相手となり、技術提案や見積り対応等、社内外の調整役となって工事着工まで推進する営業系、事務所運営の要となってメンバーを支える総務事務系。文系職種も道づくりにかかわる業務は多岐にわたります。



体育学部 体育学科卒
岡田 麻桜さん

営業として、お客様との面談の際は会社の顔としてみられる意識をもって対応しています。お客様と自社工事部の調整役となり、両者が納得いく着地点を探し、互いの希望が叶えられた舗装の引き渡しができた時はとてもうれしいです。

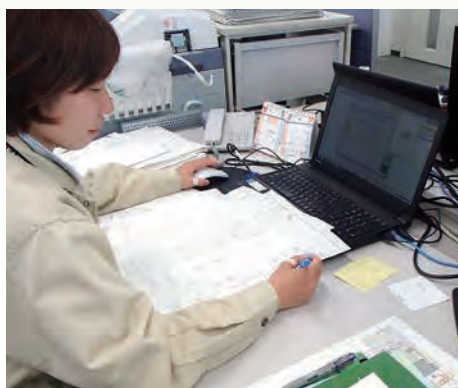
文系でも世の中に残る大きな建築物を生み出す仕事に携われることに魅力を感じました。工事が無事に完成し、お客様に喜んでもらった時が至福。後任に引き継いだお客様から数年後にいただいた言葉「あなたが創ったつながりです」は忘れられません。

(大澤哲夫さん)

工事関係の事務全般に関わっているため、経理の管理、勤怠管理、工事の契約状況や入金状況、設備管理や目標設定など業務内容は多岐に渡ります。突発的な事案が発生することもあるので、現場との信頼関係を大切にしています。

(中井悠加さん)

▼見積業務や各種書類作成業務



▼施工担当者と打合せ



▼現場の状況を見に行くことも



業界の先輩が お答えします。道路建設業のギモン、魅力



緊急事態のときに、道路は どのような役割を果たすのですか？

2011年の東日本大震災では、道路が津波の防波堤になりました。
2020年からのコロナ禍では、安心安全な生活を送るうえで、ライフラインとしての役割を果たしています。

道路はどんな時でも緊急車両や物流車両の通行を確保するものです。道路を築き守る仕事は社会に貢献できる仕事。それが就職活動の際、選択の決め手となりました。

環境都市工学部 都市システム工学科卒
野村 圭佑さん



道路建設業の中で道路舗装 という業種についてですが、 将来性はありますか？

道路は24時間車が通行します。舗装が必ず傷むので、安全のために定期的に直す必要があります。近年は災害も多く、道路の修理が必要になるケースも多発しています。人が生きていくかぎり、道路舗装は将来もずっと続く産業です。舗装が仕上がるたびに、現場に携われたやりがいを感じます。将来的に自分の子供に「お母さんがこの道路をつくったんだよ」と自慢できるのも、この仕事でよかったなと思うところです。

創造工学部 都市環境工学科卒
巻 玲奈さん



舗装技術に都市環境の負荷を軽減する 技術があると聞いたのですが、 どのような技術ですか。

舗装業界は、より付加価値のある舗装空間の創造を目指し、研究開発も重要視されています。環境負荷の面では、たとえば遮熱性舗装や保水性舗装。通常のアスファルト舗装路面よりも温度が10℃程度低く抑えられる舗装です。そのためヒートアイランド現象を抑えることができます。

生命理工学研究科卒
岡島 穂高さん



他にどのような環境の負荷を 軽減できる技術がありますか？

古くなった道路は、ほぼ100%リサイクルされ、新しい舗装に生まれ変わっています。一からものをつくるだけでなく、完成し利用される中で必要不可欠な、整備、維持、修繕、更新といったサイクルに関われること。その中で環境負荷軽減技術のほか、様々な技術が活用され社会に貢献できることは大きなやりがいです。

理工学部 都市環境学科卒
岩佐 千晶さん



先輩の生の声や、道路建設業の今を知ることができる動画「未来へつなぐみんなの道」

右記URLより動画視聴ができます <http://www.dohkenkyo.or.jp/mirai/>



「道路をつくるといわれても、具体的にはイメージできない」「いろいろな役割や職種が紹介されていたけれど、まだよくわからない」。そんな疑問はもっともです。「道路建設業で自分の将来が描けるのか?」「時代の変化に対応できているのか?」そんな不安もあるでしょう。この冊子の中で紹介した先輩たちの言葉は、ホンモノのナマの声です。みなさんから多く寄せられた質問にも本音で答えます。



舗装工事は大変忙しい仕事に見えますが休日は取れますか?

忙しい時は週末に仕事をすることもありませんが、平日を休みにして週2日休めるように調整しています。

工学部 建設学科卒
和田 拓馬さん

女性の技術者は実際にどのような仕事に携わっているのですか?

仕事内容は男性と変わりません。私の場合は、現場や品質管理などの仕事を担当しています。ICT 舗装の現場を担当して、地上型レーザースキャナでの測量や技術指導もしていますが、最近ではそのような女性技術者も増えています。

生物資源学部 共生環境学科卒
大山 久美さん



施工管理を担当しています。新しい道路の開通の瞬間、地域住民の方々から拍手や感謝の言葉をいただくと、この仕事についてよかったと感じます。古く傷んだ道路を補修して、きれいで安全な道路に仕上げるのができた時、社会に貢献する仕事ができたと実感します。

理工学研究科卒
井原 毅さん



現場で機械施工を担当しています。舗装工事は土木工事の中でも最後の工程です。施工後には開通時と同様の景色を見ることができのいいですね。さらに、自分が施工した道をマイカーで走った時の爽快感はなんといいえません。

工学部 機械工学科卒
伊藤 圭祐さん

仕事のやりがいについて教えてください。

新技術や新工法の開発を担当しています。開発に携わった技術が実際に使われた時、技術開発のやりがいを感じます。

理工学研究科卒
石松 莞爾さん



現場で事務を担当しています。私は文系出身ですが、興味のある建設の仕事に携わることができてよかったです。経理・総務関係業務など多くの業務を担当し、慌ただしいですが充実した毎日です。事務職は縁の下の力持的存在。一緒に仕事をする仲間から「いつもありがとう!」と感謝されるのが何よりのやりがいです。「もっと頑張ろう」と思います。

人文学部 人類文化学科卒
早田 順一さん





GPSからの位置情報と精密な測量を元に自動制御された重機による精度の高い施工が可能



作業員の位置情報も把握し、より安全な現場環境に



長年の経験が必要な繊細な作業もコンピューター制御で誰もが可能に



カラー透水性舗装の施工の様子

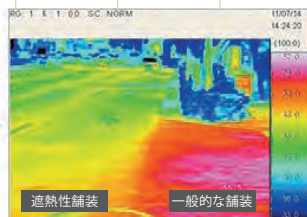


排水性舗装には吸音効果もある



遮熱性舗装

一般的な舗装



遮熱性舗装（ヒートアイランド対策）

「ICT」（情報通信技術）を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）に道路建設業界も取り組んでいます。

具体的には、人が近づけない地形や危険な場所での測量の際にドローンを使用したり、施工時に使用する建設機械のICTによる自動制御化で、施工効率や品質を向上させ、機械の稼働時間も短くなり、生産性の向上や環境負荷の軽減にも貢献しています。

政府による2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量の実質ゼロ）宣言を受け、業界としても脱炭素に向けて取り組んでいます。走行中EVへの給電システム、常温型舗装やセメント、アスファルトに代わる素材など、新鮮で革新的な発想による技術開発が必要です。これまでに、ヒートアイランド対策として太陽光を反射したり、自動車騒音対策として吸音したり、都市型洪水対策として透水したり、人や環境にやさしい舗装が実用化されています。

様々な場面で
ICT技術を
導入！

女性も
活躍できる
新たな職場環境

変わる！
道路建設業の
イノベーション

新素材、新技術で
人にも環境にも
やさしく

魅力ある
道路建設業を
目指して

働き方改革の一環として、日本全体で取り組みが進むダイバーシティ。男性主体だった道路建設業界でも、多様性を活かしてよりよい職場環境を築き、女性も含めた働きやすい環境づくりを強力に進めています。

女性の積極的な採用はもちろん、業界の女性によるグループが、交流を通じて環境改善の方向を探り様々な提案を行っています。

道路は、人が働き生活するうえで最も大切な施設であり、かけがえのない国民の財産です。その道路建設を支えるのは、私たち道路建設業です。若手や女性技術者を含む、道路建設業に従事する全ての者が、夢や希望を持てる魅力ある道路建設業を目指して、時間外労働の削減や週休二日制の完全実施に向けて積極的に取り組んでいます。



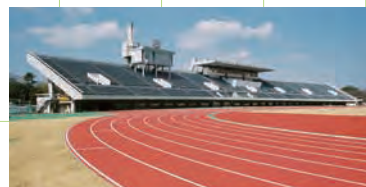
企業の垣根を超えた女性によるWGの活動



現場の最前線でも女性が活躍



空港の滑走路などに活かされる舗装技術



スポーツ施設や公園等より良い生活環境の整備



全国に延びる高速道路



一般社団法人 日本道路建設業協会



〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館

TEL 03-3537-3056 FAX 03-3537-3058

<http://www.dohkenkyo.or.jp/> E-mail jrca@dohkenkyo.or.jp

《日本道路建設業協会の会員企業を知りたい方は》

<http://www.dohkenkyo.or.jp/kyokai/kaiin.htm>

